

自記霧水量計の計数装置 (抄録)

Tadashi TABATA, Tosio HUZIOKA and Nobuo MATSUMURA: A Relay
System of Automatic Fog Meter

田	畑	忠	司*
藤	岡	敏	夫**
松	村	信	男*

自記霧水量計は4つの部分からできている。すなわち、霧粒をとらえる部分、とらえた霧粒をあつめて滴下し、その数を勘定する部分、風程をはかる部分、水滴と風程とを記録する部分である。記録部分にはリシャルの自記電接回数器をつかつてある。水滴の数を勘定する部分には2種類の真空管継電器をつかった。いずれも水滴によつて真空管のグリッドが接地され、陽極電流が急にまし、直接にあるいは金属接点をへて間接に自記回数器をはたらかせるようになつている。

* 北海道大学低温科学研究所海洋学部門

** 同応用物理学部門